

職場のご機嫌・不機嫌

使用者委員 柳田 由美

職場にいと先に入った人は先輩、後から入った人は後輩
管理職になると、後輩は部下になり、先に入った先輩も部下になる場合がある
すると、後輩とのコミュニケーションがはじまる
後輩とのコミュニケーション、部下のコミュニケーションで悩むようになる
後輩でも部下でも良い仕事をしてもらうには職場でご機嫌でいてもらうこと。
そんな悩みを尊敬している友人に相談していたら、とてもいいことを教えてもらった。
後輩や部下のモチベーションをあげるには「3つのS」を使えばいいと。

3つのSとは

SHOUNIN・SHOUSAN・SHOUREI

承認・称賛・奨励

認めて・褒めて・励ます

簡単そうでなかなか難しい。

でもこの3つがモチベーションをあげていくと。

承認していても、称賛していても、奨励しているつもりでも心がこもっていないと
攻撃と受け止められてしまい、トラブルに発展してしまう場合もある。

だから人間は、上司は、先輩は、悩みながら、いろんな角度からこの3つを試みる。
めげることなく相手に必ず伝わると信じながら。

人間関係は想いだけではうまくいかない。

人間関係は知識や理論があれば悩まずに済むときもある。

3つのSの使い方がわかれば自分も後輩も、自分も部下もご機嫌な仕事ができる。

部下も後輩もご機嫌になって、自分もご機嫌になれる。

3つのS

認める、褒める、励ます

ご機嫌な人間関係の大事な道具。